

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●日本ダービーはレイデオロが優勝

5月28日(日)におこなわれた東京優駿(日本ダービー/G I)ではレイデオロ(牡3歳/美浦・藤沢和雄厩舎)が優勝しました。同馬に騎乗したクリストフ・フルメール騎手(栗東・フリー)は本年のヴィクトリアマイルとオークスも制しており、3週連続G I勝利は2001年のオリビエ・ペリエ騎手以来2人目、同一年オークス&日本ダービー制覇は1975年の菅原泰夫騎手以来5人目の快挙。また藤沢調教師もオークスに続くG I連覇で、2004年の松田国英調教師以来5人目の同一年オークス&日本ダービー制覇を達成しました。

### ●岩田康誠騎手がJRA通算1400勝を達成

5月27日(土)の2回東京11日・第11レースとしておこなわれた樺Sではエイシンバッケンが1着となり、同馬に騎乗した岩田康誠騎手(栗東・フリー)は、史上19人目、現役では8人目となるJRA通算1400勝(1万1044戦目)を達成しました。

### ●藤田菜七子騎手が国際女性騎手招待競走に出場

6月6日(火)にスウェーデンのストックホルムでおこなわれる「ファティマ・ピント・ムバラク妃殿下主催レディースワールドチャンピオンシップ」第8戦に、藤田菜七子騎手(美浦・根本康広厩舎)がJRA代表として参加することとなりました。同チャンピオンシップは世界各地で年間13戦、11月12日(日)にはアラブ首長国連邦のアブダビで第14戦「ファイナル」がおこなわれる予定です。

### ●目黒記念でフェイムゲームが史上初の快挙達成

5月28日(日)におこなわれた目黒記念(G II)ではフェイムゲーム(騾7歳/美浦・宗像義忠厩舎)が優勝しました。同馬はダイヤモンドSとアルゼンチン共和国杯も勝利しており、東京競馬場で実施されている平地2500m以上の重賞をすべて制したのは1984年のグレード制導入以降では初めてのこととなります。

### ●ヒットザターゲットが35戦連続JRA重賞出走の新記録樹立

5月28日(日)におこなわれた目黒記念(G II)に出走したヒットザターゲット(牡9歳/栗東・加藤敬二厩舎)は、これで2012年新潟大賞典から35戦連続でのJRA重賞出走となり、ナイスネイチャが持つ34戦連続のJRA記録を更新しました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●さきたま杯(浦和)は牝馬ホワイトフーガの圧勝

さきたま杯(Jpn II、5月31日、浦和、1400m)は、6番手から3コーナーで一気に先頭に立った3番人気のホワイトフーガ(蛇名正義騎手、牝5歳、父クロフネ)が2番人気のモーニンを4馬身引き離し、7度目の重賞制覇を果たしました。1番人気に推されたベストウォーリアは3着、ドリームバレンチノは6着でした。

### ●スーパーマックスが佐賀の3歳馬の頂点に【各地の主要3歳重賞】

九州ダービー栄城賞(5月28日、佐賀、2000m)は、逃げたスーパーマックス(牡、父リーチザクラウン)が一旦2番手に後退しながらもゴール前で差し返し、単勝1.1倍の支持に応えました。のじぎく賞(5月25日、園田、1700m、牝馬)は、中団から追いつけた1番人気の笠松からの遠征馬アペリラルビー(父トーセンブライト)がゴール寸前で差し切って優勝。サファイア賞(5月28日、盛岡、芝2400m)は、7番人気の伏兵ブラックロード(牡、父シンボリクリスエス)が逃げ切り勝ちを取っています。

### ●ニシケンモノノフらが出走、6月8日の北海道スプリントC

北海道スプリントC(Jpn III、門別、1200m)は、ニシケンモノノフ、ショコラブラン、スノードラゴン、ゴーイングパワーのJRA勢4頭いずれにもチャンスがありそうです。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1愛2000ギニー〜チャーチルが英愛2000ギニーを連勝

雨中のカラ競馬場で5月27日に開催されたG1愛2000ギニー(芝8 $\frac{1}{2}$ )は、単勝1.44倍の圧倒的な1番人気に推されたチャーチル(牡3歳、父ガリレオ)が差し切り勝ち。英2000ギニーに続く連勝として、史上9頭目となる英愛2000ギニーのダブル制覇を果たしました。2馬身半差の2着に2走前のG2 UAEダービーでエピカリスを下していたサンダースノー。勝ったチャーチルはこれで7連勝(通算8戦7勝)。R.ムーア騎手はこのレース2勝目、A.オブライエン調教師は11勝目です。

### ●G1愛1000ギニー〜ウィンターもチャーチルに続くギニー連勝

愛2000ギニーの翌日にカラ競馬場で開催されたG1愛1000ギニー(芝8 $\frac{1}{2}$ )は、単勝1.62倍の1番人気に支持されたウィンター(牝3歳、父ガリレオ)が残り2 $\frac{1}{2}$ を前にして先頭に立って4馬身 $\frac{3}{4}$ 差で快勝。史上3頭目となる英1000ギニー、愛1000ギニーのダブル制覇を果たしました。ウィンターはこれで6戦3勝。このレース2勝目となったR.ムーア騎手、7勝目のA.オブライエン調教師は前日の愛2000ギニーに続く連日のG1制覇です。なお、オブライエン調教師はこのレースで1~3着を独占しています。